



発行：社会福祉法人 心聖会
広報委員会
発行責任者：吉村 優児
URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(法人事務局)

〒276-0001

千葉県八千代市小池393

TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

経営理念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。



本年11月1日に事業所開設5周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

法人では入所施設「小池更生園」が本年4月に創立40周年を迎えておりますが、当初、新設の当事業所に利用を申し込まれるには不安なお気持ちもあったのではないかと推察致します。入所施設では毎日職員間で連携し共有しておりましたが、通所施設では年間のご利用日数は多くても269日。一日のご利用時間は送迎時間を含めても7時間ほど。年間の総利用時間は一年の総時間（8760時間）に対して2割程度になる計算です。毎日お会いしているようでも8割の時間はご自宅等で生活されていることとなりますので、特に日頃のご家族等との連携や共有の重要性を感じております。

福祉サービスが必要とする方が身近な地域で、穏やかに健康に、その方らしい日常生活を送れるように、ご家族や関係諸機関との連携を取り、ご要望等も伺いながら事業運営を行うよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

こいけ障害者支援センター
管理者 西澤 昇太郎

開設5周年を迎えて

八千代市地域生活支援拠点等事業

ケアサポート笑和輪

相談支援専門員

阿部 直子



日頃よりご理解
とご支援を賜りま
してお礼申し上げ
ます。八千代市で
は10月より『地域
生活支援拠点等事業』が開始し
ました。「地域生活支援拠点等
事業?どのような事業なのだろ
う?」と思われるますよね。えっ
すでに知っている?すみません
大変失礼しました。それでは、
まだご存じでない方もいらっしゃる
という想定で事業の内容につ
いて説明させていただきます。

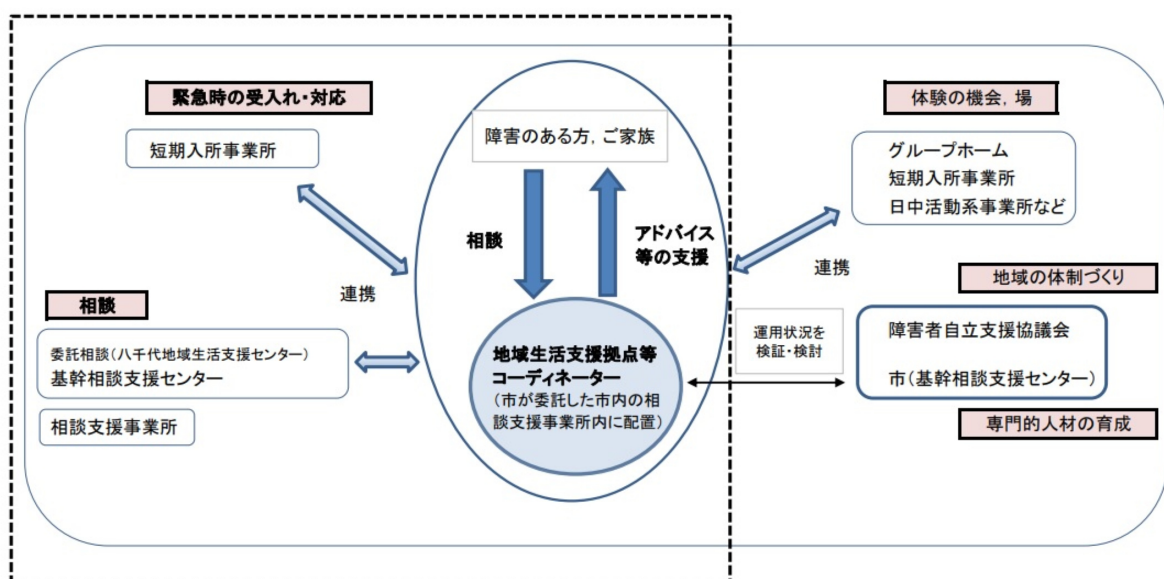
『障害のある方の重度化・高齢
化や親亡き後を見据え、障害の
ある方やそのご家族が住み慣れ
た地域で安心して暮らしていけ
るように、居住支援のための機
能を地域全体で支える体制』の
ことです。この事業は、各地域
によってニーズや既存サービス
の整備状況などが異なるため、
各市町村や圏域の実情に応じて
整えていく必要があります。そ

のため、八千代市内の事業所や
関係機関などが地域性などを考
慮しながら、連携して支え合う
緊急対応の仕組み作りが始まっ
たと考えていただければと思い
ます。「対応が遅すぎる!」
「もしもじゃなくて、いま困っ
ているのに!」など様々なご意
見があるかもしれません。しか
しながら、全国的にも進捗が芳
しくない事業であることは否め
ません。ゆえに、八千代市の障
害のある方への体制が一步前進
し、心配ごとを共有できる場が
一つ増えたと思っただけで
は幸いです。もしもに備え、事
前にご相談いただくことで、

『いつ、誰に、なにを相談すれ
ばいいのか』と一緒に考えなが
ら状況を整理するきっかけとな
り、少しでも当事者の方やご家
族の安心に繋がる事業となれば
と願っています。

現在、計画相談支援事業所を
ご利用されている方は、面談の
際などに相談支援専門員と地域
生活支援拠点等事業についてお
話をされてみてはいかがでしょ
うか。きっとお一人おひとりに
合った分かりやすい説明をして
下さるのではないかと思います。

《八千代市地域生活支援拠点等事業のイメージ図》



〔 〕 : 優先して整備する部分

小池更生園便り

秋のお楽しみ行事・・・

10月10日、「秋の楽しみ全部取り！歌って踊って食べつくせ」と題して、ご利用者、職員で会を催しました。

本来であればご家族やご来賓の方々、外部のパフォーマーの方々をお招きし、楽しく盛り上がる心聖会秋祭りとなるところですが、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小して各事業所ごとの開催となりました。

小池更生園では、「秋の楽しみ全部取り！歌って踊って食べつくせ！」をテーマに掲げて開催しました。

テーマにもある「歌って、踊って」では職員バンド「おかべくず」の生バンド演奏、ヒゲダンスをモチーフにしたパフォーマンスを楽しんで頂きました。生演奏の楽器の迫力に圧倒されてしまったご利用者もいた中、ご利用者、職員が一体となって盛り上がる事ができました。職員バンドは本来の秋祭りでもご披露できたと思います。

「食べつくす」では今年もご



おいしいごはんとおやつにニコリ

以前のよう
に、ご利用者
ご家族の
皆様に楽し
んで参加し
ただけの秋
祭りの開催
を待ち遠しく
思います。



迫力ある演奏と参加型コント！

室内第3班日帰り遠足

7月21日、室内第3班のご利用者と支援員で作業班遠足を行いました。遠足のテーマとして『みんなで作る楽しい思い出！』を掲げ、ご利用者の皆さんが楽しめるよう支援員全員で計画し実施いたしました。

新型コロナウイルスの影響から、外出の機会がなかなか無い為か、今回の作業班遠足をとてもし楽しみにしている様子で「何食べられるの？」「どこ行くの？」と数日前からワクワクされる姿も見られました。

当日、午前中は園内でレクリエーションを行いました。ボウリングやボール投げをし、身体



を動かしたり、ちぎり絵を行いそれぞれの作品を作成したりと、様々なプログラムを楽しまれていました。

レクリエーションの後は、皆さんお楽しみのお昼ご飯です。カレーや丼物など、事前にご自身で選んで頂きました。普段の食事よりもボリュームがあり、大満足のご様子でした。

昼食後、少し休憩を挟んだ後にマイクロバスで成田方面へドライブをしました。ご利用者の方々は、バスの中からの景色や支援員との会話を楽しまれており、充実したドライブを行う事ができました。

1年に1度の作業班遠足でしたが、この日は終日天気にも恵まれ皆さん怪我無く無事に終えられました。次回の作業班遠足でも、皆さんが楽しめるものを企画していきたいです。



ドライブ最高！
思い出いっぱいできました

作山更生園便り

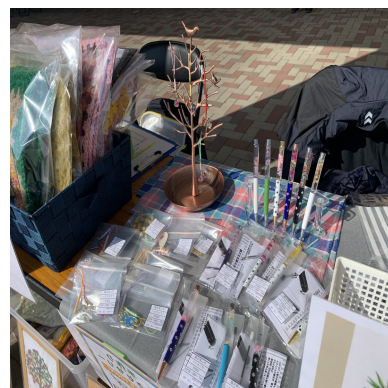
「ご存知ですか？たたら祭」

村上駅の南東にある沖塚遺跡で発見され、国内最古級といわれる古代製鉄遺構「沖塚遺跡」をテーマにしたお祭りです。

11月3日・6日の2日に分けて開催され、11月3日、わたしたちはフルルガーデン八千代にて行われたフリーマーケットに出店してきました。八千代市では、卑弥呼が活躍していた弥生時代の古墳が見つかり、さらに沖塚遺跡（黒沢池）では日本最古の製鉄遺構が発見されました。つまり、八千代市ではどこよりも早く鉄作りが行われていた可能性があるそうです。そんな歴史ある場所で、コロナ禍以降はじめて販売活動に従事し、久しぶりの戸惑いと嬉しさを感じながらの参加となりました。



晴天に恵まれた一日！



販売風景の一コマです！

「フルルガーデンでは」

地区の学生による吹奏楽やブラスバンド、バンド演奏等のステージのパフォーマンスが披露され、お祭り気分を大いに盛り上げてくれていました。また、鍛冶屋の実演があり、模擬店やゲームコーナーも大盛況と、大賑わいの中でのフリーマーケットにはとても力が入りました。

ご利用者の手作り作品を多くのお客様に手に取っていただくことができ、特に「うみ班」が新たに作成したハーバリウムのボールペンとアクセサリーは「キレイ」「かわいい」と大好評で、あつという間に完売になりました。地域の方との触れ合いを通じて、今後の活動と作品作りに繋がるエネルギーを得ることができた、そんな素敵な一日になったと思います。

作業班紹介

作山更生園では作業種目ごとの4グループに分かれて、日常の活動を行っています。園の活動の基本的なグループになっており、ご利用者それぞれ個性にあった活動を行っています。今回はその班の1つ「すずのね班」を紹介させていただきます。

すずのね班では、今年度のスローガン「トワイ&ファン」やってみよう、楽しもう」を合言葉に新たな挑戦をはじめました。木工作業では班で使用する棚や下駄箱の完成を目指して、木材のヤスリ掛け、ペンキでの色塗りを行っています。手作りのため、木の色や木目、色合いなどで、完成品の雰囲気も変わってきますので、同じ工程でも、作業するたびに違った作品になっていくことが特徴です。



ひとつひとつ丁寧に！



秋をテーマに作成しました♪

「アート作品では」

折り紙、切り絵、貼り絵などを組み合わせ皆で一つの作品を仕上げていきます。作って楽しく、できあがりも嬉しい壁画を、ご利用者一人ひとりの状況に合わせてながら作成しています。自由な発想や独特な世界観が作品に表れていて、絵のモチーフやタッチを見れば、すぐに〇〇さんの作品と分かります。そこに、1人1人の強烈な個性が光っているのです。

そんな「すずのね班」では作品展への出品を目標にして「トワイ&ファン」の毎日を過ごしています。「みんなでワクワクしたいから」を軸に据え、楽しい未来や素敵な出会いがある作品作りを行っています。今後の展開にぜひご期待ください♪

こいけ障害者
支援センター便り

秋といえは・・・



秋はやっぱり さつまいも

今年もあっという間に時が流れ、あと1か月程で新年を迎えます。立冬が過ぎ、秋から冬へ移り変わる時期ですが、今回のセンター便りは、秋に行った活動についてご報告いたします。

【食欲の秋】毎年恒例のさつまいも掘りを行いました。土の中で大きく育ったさつまいもを手で掘り起こしました。収穫できた時には拍手と歓声が上がりました。後日焼き芋を作り、みんなで美味しくいただきました。

次は食事繋がり、炊き出し

訓練の様子です。当事業所では毎月防災訓練を実施しており、10月に炊き出し訓練を行いました。カレーライスやけんちん汁などの非常食を職員が盛り付け、昼食で実際に提供するまでが訓練になります。



こいけフィットネスクラブ！？

心も体も社会的にも健康であることを目指して、様々な活動を提供していきます。

本年度も、感染症が完全に収まる気配はありませんが、感染症の流行状況や、社会情勢を鑑みて、少しずつではありますが余暇行事を開催しています。今回は幾つかの行事の様子をお伝えします。

こいけホーム

BBQで大盛り上がり！

8月28日、「こいけホームでBBQ」を開催しました。数種類のお肉、菓子パンや焼きおにぎり、トウモロコシに野菜、食後のアイスクリーム：ご利用者の希望する食材を予め伺った上で、支援員が食材を買い揃えました。そしていざ当日を迎えましたが：残念ながら雨天で屋外での実施ができなくなりました。BBQの行事自体は中止とせず、各館、式番館、それぞれ室内で調理して、食事を召し上がって頂きました。



た。晴天の下、屋外にてBBQで調理をする事は叶いませんでしたが、「お肉美味しい」「雨だけでアイス食べれるならいいかな」と、笑顔で美味しそうに食べていらっしゃいました。

澄んだ夜空を彩る花火

10月15日には「こいけホーム花火大会」を開催しました。本来であれば9月に開催する予定でしたが、雨天の為、延期での開催となりました。9月より気候も涼しくなり、花火にちょうど良い季節になったかもしれないね。初めに、夜空を彩るさまざまな手持ち花火を行いました。その後は小さめの打ち上げ花火を上げて大盛り上がりとして、シメはやっぱり線香花火。ご利用者の皆さん、火種を落とさないように集中しながら、もどか、花火大会が終わる寂しさを感じているような表情をされていました。



法人だより

寄附のお礼

サントリービバレッジソリユ
ション(株)
首都圏第三支社八千代支店 様

新任職員のお知らせ

①名前②出身地③好きな言葉
へ小池更生園へ

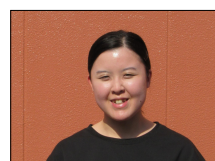
①山田 みなみ
(やまだ みなみ)
②静岡県 沼津市
③どんな時でも
自分らしくあれ

①石井 楓果
(いしい ふるか)
②千葉県 旭市
③桜花爛漫

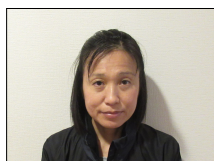
①安齊 璃恩
(あんざい りのん)
②千葉県 松戸市
③みんながって
みんなごと



① 續 将幸
(つづき まさゆき)
② 沖縄県 那覇市
③ 一日一善



① 相原 舞友
(あいはら まゆ)
② 茨城県 日立市
③ 万里一空



① 寺内 由佳子
(てらうち ゆかこ)
② 千葉県 銚子市
③ 且緩々
(しゃかんかん)

へこいけホームへ

小池更生園みそ加工班からの
お知らせ

新型コロナウイルスの状況もあり、依然としてバザーへの出店は難しい状況にあります。直接お客様とお会いして販売出来ないのは誠に残念ではありますが、直接お電話やメールでの受付もしていますので、お気軽にご連絡ください。

TEL 047-4888-8222

Mail koikekouseien

@e-shinseikai.or.jp

ホームページ
更新のお知らせ

平素より、心聖会の活動につきまして、格別のご理解、ご協力頂きありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染予防の観点から、皆様をお招きしての行事は、控えさせて頂いておりますが、法人内各事業所におきまして、様々な催しは開催しているところです。少しでもご利用者さんの様子をお伝えしたく、ホームページの更新を行っています。

小池更生園におきましては、心聖会内の小池更生園ページ右側スペースに『KOIKE PHOTO』の掲載を始めました。園内での行事や作業、生活の様子をコメントとともにアルバム形式で掲載しています。まだまだ写真は多くはありませんが、皆様に見て頂き、園でのご様子やご利用者の楽しそうな姿、取り組み等、知って頂ければ幸いです。

こいけ障害者支援センターに於きましても、ベジちゃん情報や様々な活動などを絶賛掲載中。見ごたえのある内容となっておりますので、ぜひ、ご覧頂けたらと思います。

編集後記

夏に発生した新型コロナウイルスの流行第七波におきましては、ここ作山更生園でも職員やご利用者に感染者が発生したことを受け、およそ一ヶ月間、療養期間となってしまいました。ご家族をはじめとする関係者の皆様にはご心配をおかけいたしましたこと、改めてお詫び申し上げます。それから二ヶ月近くが経過し、夏の終わりから秋の深まりへ、そして冬の到来へと季節が移り変わっていく様子が、園の周辺の景色からも見て取れるようになりました。同時に、近隣への外出や作品展への参加など、ご利用者の皆様にも安心して楽しんでいただけるようなイベントの機会を、少しずつではありますが、設けることができるようになってまいりました。まだまだ油断できない感染状況が続きますが、皆様の安心な暮らしをこれからも支えられるよう、支援員一同、努力してまいります。

